

熊本地震に係る支援活動の概要



学長メッセージの発信



熊本地震調査報告会の開催

1. 教職員の派遣

| 派遣先  | 派遣期間        | 業務           | 派遣人数 |
|------|-------------|--------------|------|
| 熊本大学 | 7月19日～7月22日 | 災害復旧要求書作成等業務 | 職員1名 |

2. 義援金募集

| 寄附先          | 金額       | 団体            |
|--------------|----------|---------------|
| 全国国立大学附属学校連盟 | 342,000円 | 附属横浜小学校児童・教職員 |
|              |          |               |

3. 研究活動

- （研究活動）
- ・先端科学高等研究院 藤野陽三教授が4月30日～5月3日にかけて研究者数名・学生数名と熊本の橋梁の被害調査に向かい、余震観測等を行った。また、7月8日から9日にかけて、熊本県現地にて、現状を調査し、他機関研究者との意見交換等を行った。
  - ・都市イノベーション研究院 小長井一男教授が、現地において、地盤被害に関する調査・研究を行った。
  - ・都市イノベーション研究院 杉本訓祥准教授が、現地において、建物被害に関する調査・研究を行うとともに、日本建築学会として文教施設の被災度区分判定を行った。
  - ・都市イノベーション研究院 田才晃教授が、現地において、住宅被害に関する調査・研究を行うとともに、日本建築学会として文教施設の被災度区分判定を行った。
  - ・都市イノベーション研究院 松行美帆子准教授が、現地において、学生らとともに避難所の運営、外国人被災者についての調査を行った。
  - ・都市イノベーション研究院 稲垣景子特別研究教員が現地の防災拠点を対象に災害時のエネルギー調査を現在実施中。
  - ・都市イノベーション研究院博士課程の学生が現地において、看護師団体とともに避難所の支援を行うとともに、被災によるストレスに関する調査・研究を行った。

- （報告会の開催）
- ・横浜国立大学の研究者等が自主的な活動あるいはそれぞれの所属学会での現地での活動を通じて、土木工学分野、建築学分野等、また社会的分野の多様な角度から見て学んだことを、速報的に発表する場として、6月20日に「熊本地震報告会」を開催した。  
<http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/16050/detail.html>

4. 教育支援

- （熊本大学法科大学院生への支援）
- ・司法試験のための法科大学院自習室・資料室の利用を許可した。また、熊本大学大学院法曹養成研究科大学院生・修了生(法務学修生)に対して、学修に関する個別相談があった場合は、本学法科大学院法曹実務専攻教員有志による学修支援を行うこととした。
- （経済的支援）
- ・被災された学生に対し、授業料免除や入学料免除などの経済支援を行った。  
<http://www.ynu.ac.jp/hus/sien/16431/detail.html>,  
<http://www.ynu.ac.jp/exam/pdf/saigai.pdf>

5. その他

- ・本学図書館にて、被災された地域の大学に所属する学生・教職員の方々への支援として、図書館サービスの提供を表明し、国立大学図書館協会にも届け出た。  
<http://www.lib.ynu.ac.jp/hus/lib/15859/>
- ・熊本地震被災地でのボランティア活動への参加に関する体制を整備し、4名の学生がボランティアに参加した。

- ・公式ホームページにて、学長メッセージを発信  
<http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/15749/detail.html>